



進路だより

平成29年1月26日

第7号

岡山県立岡山支援学校進路指導係

HPアドレス <http://www.okasien.okavama-c.ed.id/okavvo.htm>

ようこそ先輩「進路を語る会」を開催しました！

昨年12月9日に卒業生をお迎えして、進路選択の参考とし卒業後の生活への展望をもつために、「進路を語る会」を開催しました。講師の方は、先輩としてやりがいをもって日々過ごされている様子を話してくださいました。その様子を紹介したいと思います。



3年前の卒業生、大水義之さんにお話を聞かせていただきました。

大水さんは、卒業後の4月から就労継続支援A型の事業所の「GOOD操山」で、平成27年の5月からは、「GOOD高島」で木工細工製作のお仕事をされています。

～大水さんのお話の概要～

高校生活での一番の思い出は文化祭。陶芸班で皿の製作・販売をしました。皿作りで気を付けていたことはスピードを重視し、形を整えること。販売の時は、大きな声での呼び込みが恥ずかしかったのですが、おつりを間違えないように気を付け、たくさんの方が来られて完売した時はとても嬉しかったです。その経験から物作りの楽しさを知り、進路を決める手がかりとなりました。

進路のことを考え出した高校2年生。物作りの仕事がしたいという思いを先生に話すと、できるだけ多くの事業所を見学した方がよいというアドバイスを受け、作業内容やバリアフリーの面を確認しながら事業所見学に行きました。見学をしたことにより、自分の足りない部分を知ることができ、学校生活で指先を動かす練習に繰り返し取り組みました。

現在勤務の「GOOD高島」では、木を使ってコースターなどの小物作りをしています。仕事で心掛けていることは、スピードよりも丁寧に行うことで、最近しているピアノの小物作りは、細かい作業が多くパーツが折れないように気を付けています。

楽しみは、休日に好きなプラモデルを作ってストレス発散すること。今は体調管理に気を付け仕事をし、今後は京都旅行など、いろいろなことにチャレンジしたいと考えています。

仕事をする上で気を付けていること、ストレスの発散方法など、働く社会人として大切なことも折り込みながら、お話をくださいました。

また、会の後半では、在校生からの質問に、一つ一つ丁寧に答えて下さいました。そのいくつかをご紹介します。

→裏面に続きます。



～大水さんとの一問一答～

Q：困った時にはどうしていますか？

→A：高校の時は家族や友達、先生に相談していました。今は家族や周りの人に相談しています。

Q：周りの人とどのようにコミュニケーションをとっていますか？

→A：自分から話しかけたり、話題に参加したりしています。

Q：仕事をしていて大変なことは何ですか？

→A：細かい作業なので、木を削りすぎたり磨きすぎたりしないように気をつけています。

Q：失敗をくりかえさないためにどうしていますか？

→A：アドバイスをきいて、自分なりの方法を考えています。

Q：僕は今、自分から周りの人に手をあげて、大きな声で言うようにしています。それは仕事にも役立ちますか？

→A：自分なりのやり方で相手に気づいてもらうのはよいことだと思います。

Q：体調管理はどうしていますか？

→A：手洗い、うがいをします。また、規則正しい生活をするようにしています。

会の後振り返りの時間を持ち、お礼状を書くことを通して、この会で印象に残ったこと、何を得たかについて考えました。

生徒それぞれが綴った言葉から、「社会との関わり方、働く姿勢、余暇の充実のさせ方など、社会人として大事なこと」「高校生活を送る上で心がけたいことや身につけたいこと」など、大切なことが心に刻まれたということが、強く感じられました。

真剣に話を聞いたり、質問に答えていただいたりする活動を通して、望ましい高校生活や卒業後の生活を考えるうえで良い機会となりました。この会から得たものを、これからそれぞれの将来を考え学んでいくことに、生かしたいと思います。